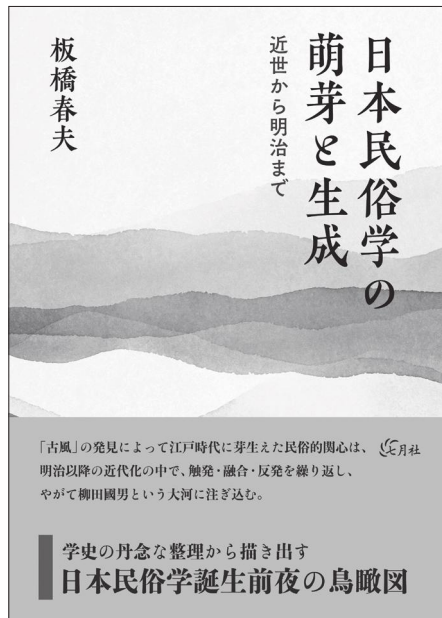




日本民俗学の萌芽と生成

——近世から明治まで



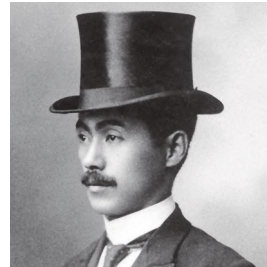
板橋春夫 [放送大学客員教授・成城大学講師 / 民俗学] = 著

定価：本体 **5400** 円 [税別] / A5判上製 / 320頁

目次

- I 近世期における民俗研究の萌芽
『菅江真澄遊覧記』にみる民俗世界 / 近世紀行文にみる民俗事象の発見 / 古風の発見と田舎 / 探訪と観察の実践 / 資料収集の実験「諸国風俗問状」 / 不思議な現象の記録
- II 明治期における日本民俗学の生成
外国人の日本文化研究と人類学会の成立 / 柳田國男の民俗学への転進 / 南方熊楠の Folklore / 郷土会と雑誌『郷土研究』の創刊 / 折口信夫「髯籠の話」をめぐる諸問題

「古風」や「田舎」が発見され、失われゆくそれらを書き留めようとする中で、江戸時代に民俗学の種が撒かれました。それが芽生えるのが明治・大正時代。南方熊楠、折口信夫などの活躍と並行して、柳田國男がそれらを学問としてまとめ上げていきます。



柳田國男

江戸時代から、明治・大正時代まで、 日本民俗学が誕生にいたる過程を 丁寧にまとめた一書



南方熊楠

株式会社 七月社 ☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

帳合・番線	注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385
		板橋春夫=著 日本民俗学の萌芽と生成——近世から明治まで A5判上製 / 320頁 / 本体5400円 / ISBN978-4-909544-32-2 C1039

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い *JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です